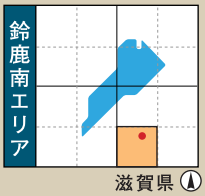
天然記念物
国指定

# 別所高師小僧（べっしょたかしこぞう）

日野町別所　昭和19年11月13日指定



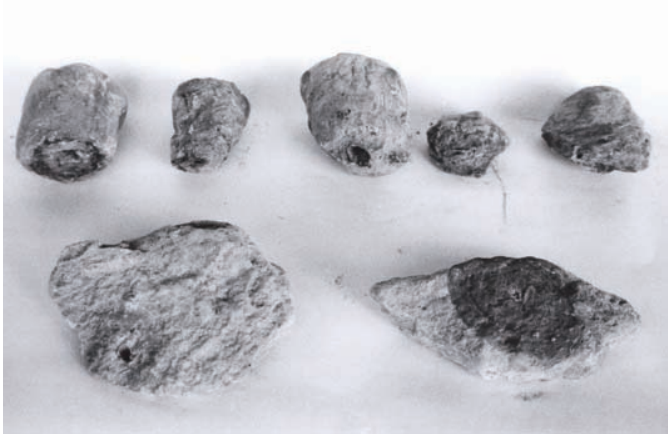

琵琶湖は伊賀に生まれ、永い年月を経て現在の位置まで移動してきました。約300万年前、鈴鹿山麓の一帯は琵琶湖（古琵琶湖）に覆われていました。この頃、水中に含まれる鉄分と植物が出会い、高師小僧を形成しました。名前も、形もどこかユーモラスな高師小僧ですが、近江の生い立ちを雄弁に語りかけてくれます。



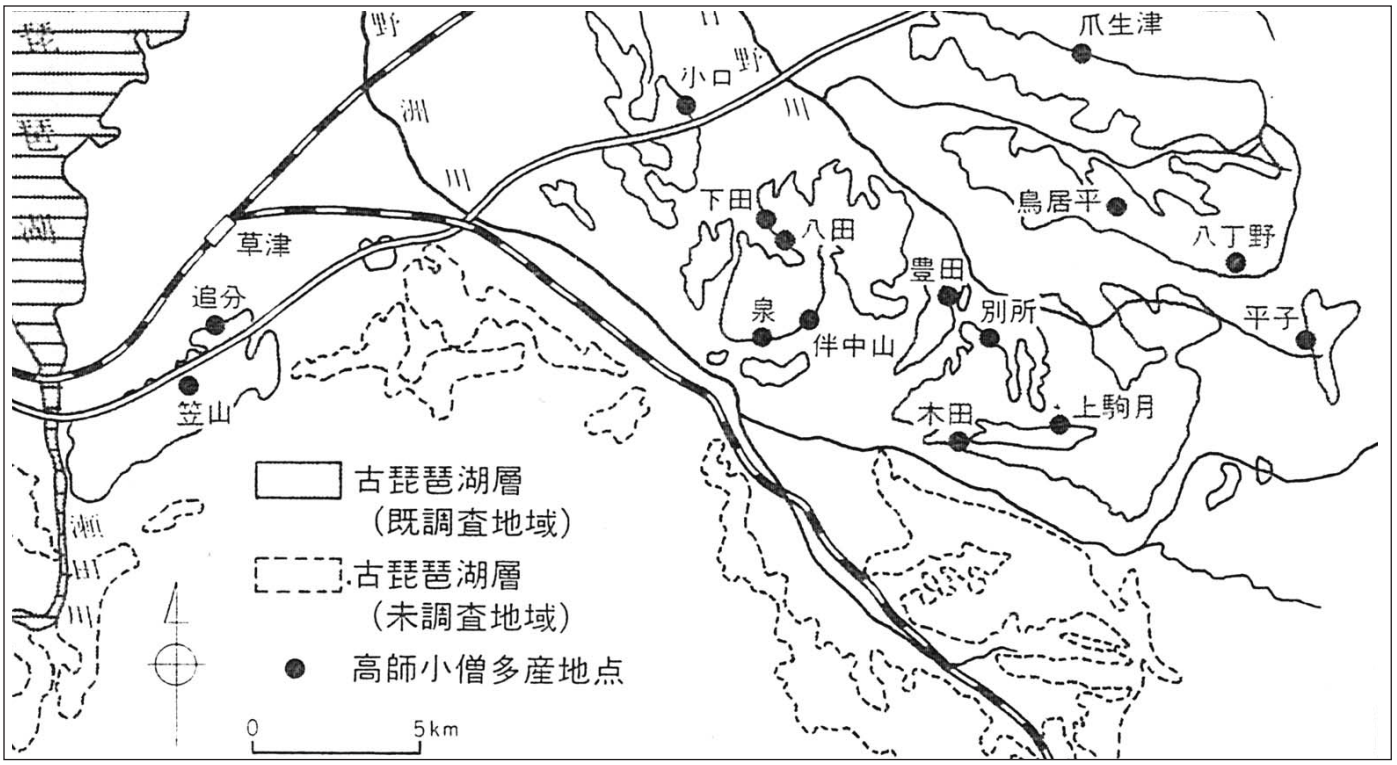

天然記念物指定地

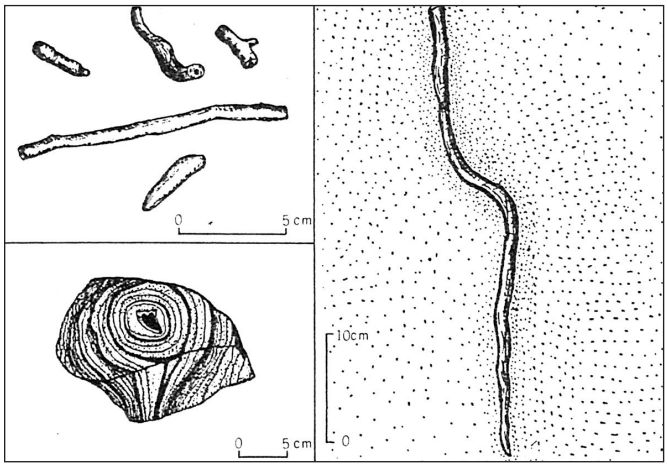
## 高師小僧について

高師小僧は、地中の植物の根や枝の廻りに、土中や水中の鉄分が水酸化鉄として沈殿してできたもので、中心部は空洞となり、断面には年輪のような同心円文様があります。最初に、愛知県高師を原産とするものが学会に発表されたことから「高師小僧」という名前が定着しました（現在、愛知県指定天然記念物）。高師小僧そのものはそれほど珍しい現象ではなく、鉄分の多い地層の中の、地下水の溜まりやすい難透水層の上面によく見られ、滋賀県内でも古琵琶湖層の広がる地域に多く分布しています。



高師小僧




高師小僧

## 別所高師小僧

日野町別所地区の真窪（まなくぼ）が、高師小僧の産地として天然記念物に指定されています。高師小僧は、この地域に分布する凝灰岩層の中に産し、サツマイモ形の形状のものが多く、直径7～8cm、中には10cmに及ぶものもあり、高師小僧の中でも特に巨大なものを産する地域として注目されています。

現在、この地域の開発が進み、かつてよく見られたという高師小僧も、なかなか見ることができなくなってきました。近江の生い立ちを伝える資産として永く守ってゆく必要があります。

## 関連する文化財

| | |
|---|---|
| **名寄高師小僧**<br>（北海道名寄市） | 植物体を核として成長した鉄成分。名寄のものは形が大きく、数も多いことから指定を受けた |
| **名寄鈴石**<br>（北海道名寄市） | 高師小僧と同じ条件で成長した鉄成分。核が石灰質で、球状に成長したもの。振ると音がするものもある |
| **綿向山麓の接触変質地帯**（日野町） | 学習シートNo.116 |
| **鎌掛の屏風岩**<br>（日野町） | 学習シートNo.117 |

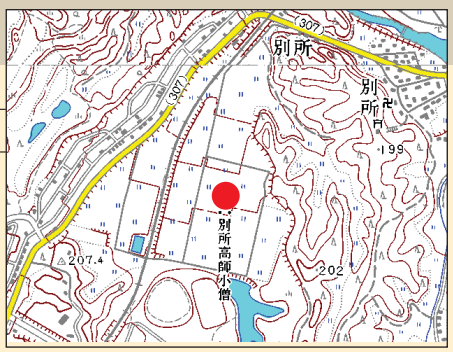
## もっと深く知りたい

**日野町教育委員会**　☎0748-52-6566　日野町河原470

**琵琶湖博物館**　☎077-568-4811　草津市下物町1091

**別所高師小僧へのアクセス**

近江鉄道　日野駅下車
名神高速道路　竜王インター




【参考文献】〔日本の天然記念物〕講談社

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　平成16年3月